

基幹相談支援センターの報告 (平成 28 年 2 月～5 月)

1 今年度の取り組み

◎「障がいの事を知る為の出張講座」の実施

事業所や団体の企画する研修・勉強会・集会などに講師を派遣し、障がいに関する啓発や支援技術・知識の向上を図る。

◎「出張相談」の実施（予定）

相談会を通じて地域（東部市民センター・西部ふれあいセンター・味美ふれあいセンター）を巡回することで、実際に相談支援に繋がっていない埋もれたニーズの掘り起こしや、地域ごとの相談ニーズの傾向を把握する。また、広報に「出張相談」を掲載することで、春日井市民の障がいに関する相談窓口を周知する。

◎大規模研修会

- ・平成 28 年 6 月 28 日（火） 午後 1 時から午後 3 時 30 分

「福祉サービス事業所等初任者向け研修会」

講師：基幹相談支援センターしゃきょう職員

対象：福祉サービス事業所等の新任職員

- ・平成 28 年 10 月頃

「地域移行・地域定着について」（仮）

講師：春日井保健所職員

対象：福祉サービス事業所職員・一般市民

- ・その他

基幹相談支援センターアドバイザー森長研治氏による療育に関する研修や、先進地の支援体制についての研修等を検討中。

2 今年度の課題

平成 27 年度は困難ケースの相談支援を主としてきたこと、基幹相談支援センター主催の研修回数を増加させたことから、福祉サービス事業所や医療機関、行政機関など他機関と関わる機会が多くあり、それに伴い、社会資源の詳細や医療現場の実情など様々な情報が当センターに集まるようになってきている。

今後、こうした「生きた情報」を発信していくため、研修会や地域自立支援協議会を通してネットワークの構築を図り、その中核的な機関としての役割を果たしていきたいと考えている。